

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)		スーパー（財務担当）	単価の動き	・来客数は前年並みだが、新型コロナウイルスの影響で総菜以外の部門は需要が好調である。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・政府の緊急事態宣言以降、冷凍食品や生鮮食品などの家庭内食材の売上が伸びている。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・来客数は前年比で微増傾向にある。売上高は当店全体ではかなりの伸びを示しているが、総菜については売上が鈍かった。例年、弁当類や寿司類が伸びる季節であったが需要が出なかった。販売形態をばら売りからバック売りに変更したことが影響している。
		その他飲食 [ファーストフード]（経営者）	来客数の動き	・ファーストフード店はテイクアウト需要やデリバリー需要が伸びている反面、レストランの売上が半減し、ショッピングセンターに立地している店舗では休業となっているので、トータルでは前年並みである。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・パソコンは売れているが、他部門は落ち込みが顕著である。
		通信会社（営業部長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの対策で営業時間を短縮し、かつ不要不急のオーダーをお断りしている。ただし、通信利用は継続して行われている。
	×	商店街（代表者）	販売量の動き	・販売量が前年比10%程度に落ち込んでいる。商店街は人通りもなく大変苦戦している状況である。
	×	商店街（事務局長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスに効果のあるワクチンが完成するか、国民の相当数に対してPCR検査が終了しない限りは、自粛要請が解除されないと考えられるため、しばらくは消費どころではない。
	×	商店街（代表者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響は想像をはるかに超えてきた。それと同時に、皮肉にも過剰な車社会により人々の行動範囲はますます拡大していること、グローバルな経済環境という新たな時代への対応が不可欠となるため、感染がある程度鎮圧されても元の状態には戻れない。
	×	商店街（代表者）	それ以外	・緊急事態宣言が全国に拡大されてから、商店街は人がさっぱりで、休業している店も増えた。商店街はガラガラの状況が続いており、景気以前の問題である。
	×	一般小売店[生花]（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大対策による外出自粛で街に人通りがなくなり、車の通りもまばらで、来客はなくなった。市場への商品の入荷が少なくなって、希望の種類がそろわないケースも出てきた。
	×	一般小売店[書籍]（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響による百貨店の休業で、テナントの大型書店も休業しているので、そこを利用していた客が当店に流れてくると予想したが、期待したほどの売上増加はなかった。コンサートの前売券は、中止や延期の続出で、売上はほとんどなかった。
	×	一般小売店[酒]（販売担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で外出や外食の自粛があり、飲食店への納入が減少した上、今月中旬以降は緊急事態宣言で飲食店が休業し始め、店頭売りがほとんどない当店では売上が激減している。
	×	百貨店（企画担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言後、来客数が約3割まで低下している。
	×	百貨店（販売促進）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で臨時休業等の対応をしている。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数の激減で大変な状態にある。どの時間帯も減少しているが、特に出勤前の早朝や夕方～夜間に掛けてが激減している。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数は減少しているが、一度に購入する量は増えており、売上は前年比92%となっている。
	×	コンビニ（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で客足が鈍化しており、特に中食は厳しくなっている。
	×	コンビニ（総務）	来客数の動き	・緊急事態宣言が発令され不要不急の外出が制限されるなかで、来客数が大幅に減少した。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で営業時間を短縮していることもあり、来客がない。

	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・4～5月の連休一杯までは、上半期で最も大事な時期であったが、新型コロナウイルスの影響により、いろいろな大きく制約された。3月までの減り方とは大きく異なり、4月は早々に大きく販売が下落し、一時は半分程度、現在は6～7割減という状態である。
	衣料品専門店 (営業責任者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客、売上共に70%以上減少している。この状況が続けば会社の継続が非常に厳しくなる。
	家電量販店(副 店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大につれ、目的がある客の来店のみとなってきた。
	乗用車販売業 (営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で売上は前年比80%程度になっている。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・4月の新車受注状況は前年比85%程度で推移しているが、今後の減少幅を予想することは難しい。
	乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で会社は長期休暇になり、客も来店を敬遠している。
	乗用車販売店 (役員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が大きく出始めている。
	その他小売 [ショッピング センター](副 支配人)	来客数の動き	・4月下旬から営業自粛で閉店している。また、不要不急の外出の自粛要請が浸透し、街中は人通りが極端に減っている。
	一般レストラン (経営者)	それ以外	・休業要請を受けて休業している。
	一般レストラン (経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響でほとんどの店舗が営業を自粛している。年間でも数少ない書き入れ時にこの状態は非常にづらい。
	観光型旅館(経 営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる行動規制の影響は甚大である。
	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・とにかく厳しい。先が見えない状態になっているので、いつ抜け出せるか分からない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・3か月前から今月に掛けて客足が悪い。8時間走っても売上にすると2000～3000円、客数は2～3人程度である。緊急事態宣言が全都道府県に拡大されたことに伴い、当県でも飲食や量販店等への自粛要請が出されたため、入出は10%程度という状況である。
	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で客は激減している。春のお遍路はほぼキャンセルとなり、街も人が歩いていない。また、仕事の人や観光客もいないので、ひどい状況である。祝祭日や日曜日ですえ1回も乗せないこともあり、これはどうしようもない。
	通信会社社員	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響に伴い、プッシュ営業を取りやめた。
	通信会社(営業 担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が大きく減少している。
	競輪競馬(マ ネージャー)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言の発令や営業自粛の要請などにより、国民1人1人に危機感が強まりつつある。事業者の営業自粛が進んでいるが、終息の気配は見えず、根気強い粘りが必要とされている。スポーツ業界等も無観客試合を強いられているため、売上は大きく減少する。
	美容室(経営 者)	お客様の様子	・男性客の来店はまだあるが女性客が全くない状況である。いろいろな業種のオーナーに話を聞いたところ、店を閉めるギリギリだと言っている。
	美容室(経営 者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で来客数が激減している。
	設計事務所(所 長)	来客数の動き	・商談のための来客がほとんどなくなった。
企業 動向 関連 (四国)	*	*	*
	-	-	-
	建設業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・公共工事や民間工事共に、新型コロナウイルスの影響の度合いが分からない。
	化学工業(所 長)	受注量や販売量 の動き	・家庭用食品(冷凍食品等)や衛生材料向けの受注は増加しているが、一方で観光業(ホテルや土産店)や自動車関連は受注が激減している。
	鉄鋼業(総務部 長)	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの影響で受注が減少傾向にある。

	建設業（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスへの対応のため、自らの判断や発注者からの協力要請もあって、営業活動や事業活動が制約を受け始めている。また、業界や関連学会、団体の諸活動も中止や書面開催となり、行動が大きく縮小されていることが景気の後退感を助長している。
×	農林水産業（職員）	取引先の様子	・卸売価格は、花き、果物を中心に業務用の使用比率が高い野菜品目等で非常に厳しい状況となっている。また、例年なら大型連休中の仕入れで野菜全般に引き合いが強まる場所、今年は低調推移している。特に、花きは採算が合わず産地廃棄している品目もある。そのほかにも、販売先に製品の納入を断られた漬物業者が原料供給元である当農協に販売支援を依頼してきたり、工場を閉鎖した加工業者もある。納品先が飲食業と量販店で明暗が分かれている。当組合の取引でも前年に対し9割減になるなど、厳しい販売環境となっている。
×	食料品製造業（商品統括）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により経済活動は休止状態にある。
×	繊維工業（経営者）	取引先の様子	・4月初めに緊急事態宣言が発令された段階では、関東地区の小売店だけが休業に入ったが、その後、対象が拡大され、地方の小売店も休業が増えている。当社は全国の小売店、旅館、アパレル、インテリアショップなど100店舗以上と取引があるが、地方の老舗旅館の倒産や小売店の廃業が続いている。また、月末の支払について、休業や資金繰りが厳しいことを理由に、発注済みの商品の取消しや仕入れ数の削減、1～2か月の支払猶予を依頼してくる取引先が増えてきた。
×	木材木製品製造業（営業部長）	受注量や販売量の動き	・大手住宅メーカーの受注が減少している。この傾向は今後も改善の見込みがなく、新型コロナウイルスの影響が大きく出ている。
×	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、海外工場の一時的閉鎖や受注の一部に延期等の動きがある。
×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で県外に行けないので仕事がない。発電事業のお陰で月々の電気料金が入ってくるので、何とかやっているという状況である。
×	輸送業（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が甚大である。
×	輸送業（営業）	取引先の様子	・4月の取扱物量は前年比2けたの落ち込みとなっている。度重なる交渉の末に年度替わりの運賃値上げで合意していた荷主が値上げの白紙撤回や値上げ幅の大幅な緩和を求めてくる事例も見受けられ、新型コロナウイルスの感染拡大による消費の低迷が予想以上に大きく作用している。荷主の事情は理解できるが、運賃値上げの先延ばしは難しい。しかし、荷主側の要求を拒否した場合は安価な運賃で妥協する同業他社に流れてしまうため、失注による経営へのダメージは避けきれない状況にある。
×	輸送業（経理）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う移動自粛に起因する経済や物流動向の低迷が明らかに大きく影響している。
×	通信業（総務担当）	それ以外	・新型コロナウイルス対策によるテレワークや能動的な営業活動の自粛等の影響が出ている。
×	金融業（副支店長）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響を受け、飲食や宿泊を始めとした接客業の売上が激減している。
×	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言以降はイベントや販促広告の中止が更に多くなった。店舗の休業等もあり、特に新聞のチラシ広告への影響は大きく、半減する見込みである。
×	税理士	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響により売上が顕著に低下している顧問先が増えている。それに加えて融資や補助金の申請を行う顧問先も増えてきている。
雇用 関連 (四国)	-	-	-
	-	-	-
	-	-	-
	-	-	-
	×	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き

×	人材派遣会社 (営業)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大を受け、周辺企業及び公共施設はほぼ営業を自粛し、閉館状態にある。よって、稼働している職員も8割は休業処置による自宅待機か、環境を整えられる企業についてはテレワークが主流となってきている。全般的に金が流通してないため景気はほぼ再下落の現状である。
×	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・契約途中の派遣スタッフの稼働が減らされたり、派遣の依頼が急に止まったりしている。
×	求人情報誌(営業)	周辺企業の様子	・4月の緊急事態宣言以降、観光や飲食、サービスに係る業種では、軒並み売上、利益共に落ち込み、つなぎ融資や従業員の解雇でやり過ぎしているところが増加している。周辺企業へのヒアリングから、閉店や倒産もかなりの件数が出てくると考えている。
×	新聞社[求人広告](担当者)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、広告代理業に欠かせないイベント関連の売上がほぼなくなったことが大きい。
×	職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・雇用調整助成金の相談件数が急増している。地方は中小企業が多く深刻な状況である。
×	職業安定所(求人開発)	周辺企業の様子	・3月の有効求人倍率は1.48倍で、3か月前と比較して減少しており、前年比でも減少となっている。新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、事業所の閉鎖や事業縮小等による人員整理を実施する事業所が増えてきていることから、総合的に考えて悪くなっている。
×	民間職業紹介機関(所長)	それ以外	・県庁所在地でも新型コロナウイルスの影響で静まり返っている。駅前も通行する人がほとんどおらず、また、バスターミナルもバスが1台もないという異常な様子である。ホテルのレストランも朝食、夕食を問わず、客が食事をしておらず、異常事態といっても過言ではない。
×	学校[大学](就職担当)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染防止のための緊急事態宣言を受けて、地元の多くの店舗が臨時休業している。